

■会員近況報告（3／4）（高21～42期）

<※>この近況報告は、2021年2月頃までに寄稿いただいたものです。

新型コロナウイルス禍のため、本年度は会報の編集もむつかしいと思いましたが、コロナごときに負けて伝統の会報を途絶えさせるのは何とも口惜しく、皆様から「近況報告」をいただければ会報もできて、お互いの元気づくりにもなるのではないかと考えました。

呼びかけにご協力いただきました皆様、有難うございました。一日も早くこの言わば「コロナ版近況報告」が思い出話になりますよう・・・。

（2／4）から続く。

高21（昭45卒）野津一雄（尼崎市）

2020年は私にとって激動の一年でした。

新型コロナは皆さんと同じ環境ですが、それに加えて松江で独り暮らしをしていた94歳の母が4月に体調を崩し、入院しました。そのため、私と家内は毎月3週間は松江で、1週間は自宅の尼崎で自身の通院や種々の手続きを行うという生活を送って参りました。

コロナ感染防止のため、母の入院中は面会ができないという経験もしました。幸い、母は5月の終わりに自宅療養となりましたが、残念ながら8月に容体が急変し、亡くなりました。



その後、葬儀や相続の手続き、松江の実家の片付けなどを行い、まだ作業は残っていますが、一段落したことから、やっと12月19日に自宅に落ち着きました。

来年は穏やかな1年であって欲しいと思います。皆様も良いお年をお迎えください。

2021年3月 実家の片付けの気分転換に訪れた島根半島チェリーロード近くの笠浦海岸（美保関町）で

高22（昭46卒）内藤善夫（吹田市）

誰もが、行動変容を余儀なくされた2020年、昨年は、松江6割／大阪4割の比率で母親を見守り、郷里で過ごすことの多い一年となった。

月2回往復して、半世紀ぶりに「松江人」に戻り、改めて「弁当忘れても・・・」のたとえどおり、天候が急変する山陰を痛感した。

また、幼馴染の町内会長の誘いで、地域の清掃活動にも数回参加したが、4月に県内初の感染者の勤務先が、自宅から数百メートルだったことにも驚いた。

穏やかな日々が、少しでも早く戻ることを祈りたい。

高22（昭46卒）大浦綾子（西宮市）

すっかりご無沙汰しております。友人知人との会食も減り、子供や孫たちと直接会う機会も激減して、この年末年始も「リモートカウントダウン」「リモートお年始」になりました。

第三波が到来してからは、長丁場を覚悟して、運動不足を解消するために、ついに「エアロバイク」を購入してしまいました。

この状況が一日も早く終息に向かい、心置きなくお目にかかれる日を楽しみにしております。

高22（昭46卒）鶴羽孝子（尼崎市）

新型コロナウイルスの感染拡大により、自粛生活が長く続き、当初は気が滅入りましたが、今はそれなりに生活スタイルと心の持ちようができたように思います。

できないことに思いを巡らすより、今できることに楽しみや喜びを見出していくことが大事だと思うこの頃です。

<同期の皆様へ>

昨年3月に予定していた「春の集い」は中止となり、毎年恒例の「女性の会」も見送りました。皆さんにお会いできず、とても残念です。

また一同に会する日が来ることを心待ちにしています。

高23（昭47卒）松本 潤（吹田市）

25年前から毎年開催している関西地区同窓会が延期となるなか、何とかお互いに元気な顔を見たい、コミュニケーションを取りたいとのメンバーの強い思いもあって、昨年4月から月1回Zoomでのオンライン同窓会を開催しています。

関西はもとより東京、松江、静岡、名古屋から毎回10人から15人が参加し「元気確認会」と称して約2時間、賑やかに楽しんでいます。最近では二人から近況報告をしたあと故郷の話題を中心に情報交換をしています。

高23（昭47卒）橘 千里（奈良県王寺町）

年末年始は孫の面倒見も加わり、毎日の生活で手一杯になります。

ところで、民間調査ですが町の広報紙に、私の住んでいる町（奈良県王寺町）が『街の住みごころランキング2020』で日本一になったと載っていました。



王寺町の街路樹



若い時はあまり住宅地の環境に興味がなかったのですが、年齢を重ねると考え方が変わって、鳥の声で目覚め、自然の移り変わりを感じられる環境に、良いところに住んだなと思えるようになりました。

高24 (昭48卒) 徳田完二 (京都市)

コロナウイルスは私の勤務する大学も直撃。春の卒業式・入学式の中止から始まり、一定の休講期間を経て、「オンライン授業」なる、かつて経験のない形で仕事をする羽目になりました。

その後、一部の授業は、手指の消毒、マスクの着用、アクリル板越しの講義という違和感たっぷりの中、対面で行っています。

でも人間、慣れるものですね。最近はマスクをせずに道を歩くことに違和感を覚えるようになってしまいました。

高24 (昭48卒) 小川ひとみ (加西市)

私の住む加西市には年に一度、ハンセン病患者を収容隔離していた長島愛生園への訪問研修があります。今まで機会はあるながら一步踏み出せずにいたのですが、コロナ禍の中、今年は参加しました。

見えない細菌、そして世間からの偏見と闘いながら隔離された島でほぼ人生の全てを送られた80代後半の元患者さんの話を聞き、そのご苦勞は想像を超えるものでした。

このような事が二度とあってはならないと心から願いました。

高24 (昭48卒) 河村敦子 (西宮市)

この一年間は、ずっと閉じこもっています。

住んでいるのは西宮ですが、大阪にも神戸にも行っていませんし、松江に帰って両親と会うことも、東京にいる息子に会うこともありません。

しかも、夫が有料老人ホームの経営に携わっていますので、家族としても、特に行動制限は厳しくなっています。小さな楽しみは、NETFLIX・YouTube・U-NEXTになりました。

早く日常の生活が戻りますように……。

高24 (昭48卒) 瀬戸口二三子 (京都市)

お陰様でシニア世帯の我が家、元気に新年を迎える事ができました。コロナ禍の中、「3密ではない」と畑や山歩きはできましたが、東京在住の息子家族とは直に会えず、孫ともビデオ通話のみ。それでもありがたいですね。

今年は家族・友人・仲間と普通に会える年になりますように！

高24 (昭48卒) 水野順子 (宇治市)

静かなお正月を迎えようとしています。

今年からオカリナ教室に通い始めたので、幸か不幸か、練習時間がたっぷり。認知症予防にたまに健康麻雀。テニス、ゴルフ、山歩き、孫守りと、なぜか娘から預かってしまった犬の散歩。

健康と年金暮らしに感謝して、過ごしています。……が、早く水戸の息子一家に会いたいです！

高25（昭49卒）小林 宏（吹田市）

今年は帰郷も控えて静かに新年を迎えました。

年末にたまたま見つけたラトビアのお店で買った石鹸がお気に入り、毎日お風呂で楽しんでおります。

<※編集注>ラトビアは石鹸で有名です。

高30・理9（昭54卒）千葉 潮（安来市）

<同期の皆様へ>

お元気でいらっしゃいますか。昨年は私たちの学年も丁度還暦にあたりました。通常年ならば同窓会を開くのですが、コロナウイルスの感染拡大を受けて、軒並み同窓会は中止、それどころか、普通に会って食事を楽しんだりすることもとりやめてしまい、友人の皆様の動向は、FacebookなどのSNSで知るばかりです。

私は2019年から拠点を安来市の実家に移し、2020年4月から、安来市加納美術館の館長を務めています。仕事を大阪と安来の2拠点で行う計画でしたが、島根にこもりきりです。その代わり松江や出雲には仕事にかこつけて足しげく通うようになりました。ペーパードライバーも返上し、いまは通勤しながら故郷の四季を楽しんでいます。今の季節（1月です）、冠雪の大山と田んぼで休む白鳥を同時に見たりできる、故郷の眺めは素晴らしいです。

職場の安来市加納美術館は、足立美術館から車で約15分の所で、安来から奥出雲に向かう途上の安来市広瀬町布部にあります。今は平和を求め続けた画家加納莞蕾ゆかりの美術館として、加納莞蕾の作品をはじめ、地元ゆかりの美術家の作品を収蔵しています。また、備前焼のコレクションで知ってくださる方も多いのです。

昨年はコロナのおかげで就任直後の2か月は休館していました。今は、改修工事のためやはり休館。2021年の6月半ばから再開しますので、今はその準備に忙しくしています。

9月半ばからは、アニメ「この世界の片隅に」の原作マンガの原画展（こうの史代さん作）を計画しています。アニメの主題歌は、16期の三吉孜さんの娘さんのコトリングさんが歌っておられますので、何かご縁も感じているところです。

早くコロナウイルスが収束してほしいと、皆さんと同様に願っております。改めて還暦同期会も持ちたいものですね。そして、帰省やご旅行のおりにはぜひ当館にいらしていただきたいと首を長くして待っております。とにもかくにも、皆様のご健康をお祈りするばかりです。

高35（昭59卒）富岡幸子（寝屋川市）

初めて投稿します。皆様にはいつも大変お世話になっております。

去年はいろいろな出来事がありました。実家島根に通う必要もできて2ヶ月に1度は行っていました。コロナ渦で行けなくなりました。

自粛期間に時間ができたので、自分の身体に向き合うことにしました。病院、整骨院、エステ、自宅でのストレッチ、娘とのウォーキング、食事管理、早寝早起き、身体にいいと言われる事はできる限りすべてとり入れました。そして半年で改革大成功。別人と言われるくらい身体が軽くなり、そして健康になりました。

一念発起、念願だった息子とサッカーする事を夢みて、大人のサッカースクールにも通い始めました。最近では念願かない息子と一緒にサッカーができるようになりました。この年になって、ボールを追いかけられるようになるなんて、夢にも思いませんでしたが、時間がで

きた事で、時間をつくる事ができるようになりました。

仕事もお陰様でとても順調です。これからもご縁を大切に、一期一会を思いっきり満喫したいと思います。

皆様に、家族に、自分の身体に感謝です。ありがとうございます。

高42 (平3卒) 三好博子 (枚方市)

私の勤務する旅行会社は、コロナで4月は休業、私は4月～8月まで自宅待機でした。9月からGOTOトラベルの影響で、色々振り回されていますが、毎日忙しくしております。

プライベートでは、エントリーしていた3月の名古屋ウイメンズマラソンが中止になり、神戸マラソン、大阪マラソンも中止、今年初めてエントリーしようと思っていた国宝松江城マラソンも中止になり、モチベーションは下がっていましたが、今はオンラインマラソンに参加して、来年の為に頑張っています。

(3 / 4) 終わり。